

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年03月25日

計画の名称	総合的な下水道整備の推進												
計画の期間	平成28年度～平成29年度(2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	豊橋市												
計画の目標	汚水整備の推進により、生活環境の向上と河川や三河湾などの公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,496	A	1,496	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初		H29末
1	下水道処理人口普及率を、75.4%(H27末)から75.5%(H29末)に増加。 下水道を利用できる人口の総人口に対する割合 下水道処理人口普及率(%) = (下水道を利用できる人口(人)) / (総人口(人))	75%	%	76%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (合流)	新設	中島処理区 (未普及解消)	野田・中島送水管 L=6620m、ポンプ棟 1棟	豊橋市	■					1,017		—
	A07-002	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (污水)	新設	豊川流域関連処理区 (未普及解消)	前芝処理分区 A=6ha	豊橋市	■					108		—
	A07-003	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (污水)	新設	野田処理区 (未普及解消)	吉田方地区 A=22ha	豊橋市	■	■				122		—
	A07-004	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (污水)	新設	中島処理区 (未普及解消)	橋良地区 A=65ha	豊橋市	■	■				226		—
	A07-005	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (污水)	新設	中島処理区 (処理区統合)	天伯地区 送水管 L=1035m	豊橋市	■					23		—
											小計						1,496		
											合計						1,496		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 豊橋市上下水道局（局長、次長、総務課、下水道施設課、下水道整備課）で実施	事後評価の実施時期 平成31年3月
	公表の方法 豊橋市上下水道局HP上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的な汚水管渠整備により、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が順次図られている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし

○特記事項（今後の方針等）

・面整備については、新たに重点計画に位置付けることにより事業費の確保に努め、現在区画整理事業が進められている地区を中心に市街化区域内の整備を推進する。
 ・野田・中島送水管および天伯送水管の建設については、改めて重点化事業に位置付けることにより事業費の確保に努め、早期の整備完了を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率の向上	
	最終目標値	76%
	最終実績値	75%
		当初計画通り区画整理地区の整備を進めたが、処理区域内の人口が減少し、処理区域外の人口が増加したことから普及率が下がった。

(参考図面)

平成 31年 3月 25日

